

吐水口付 バスタブ用オーバーフロー金物の概要 1

該当品番：

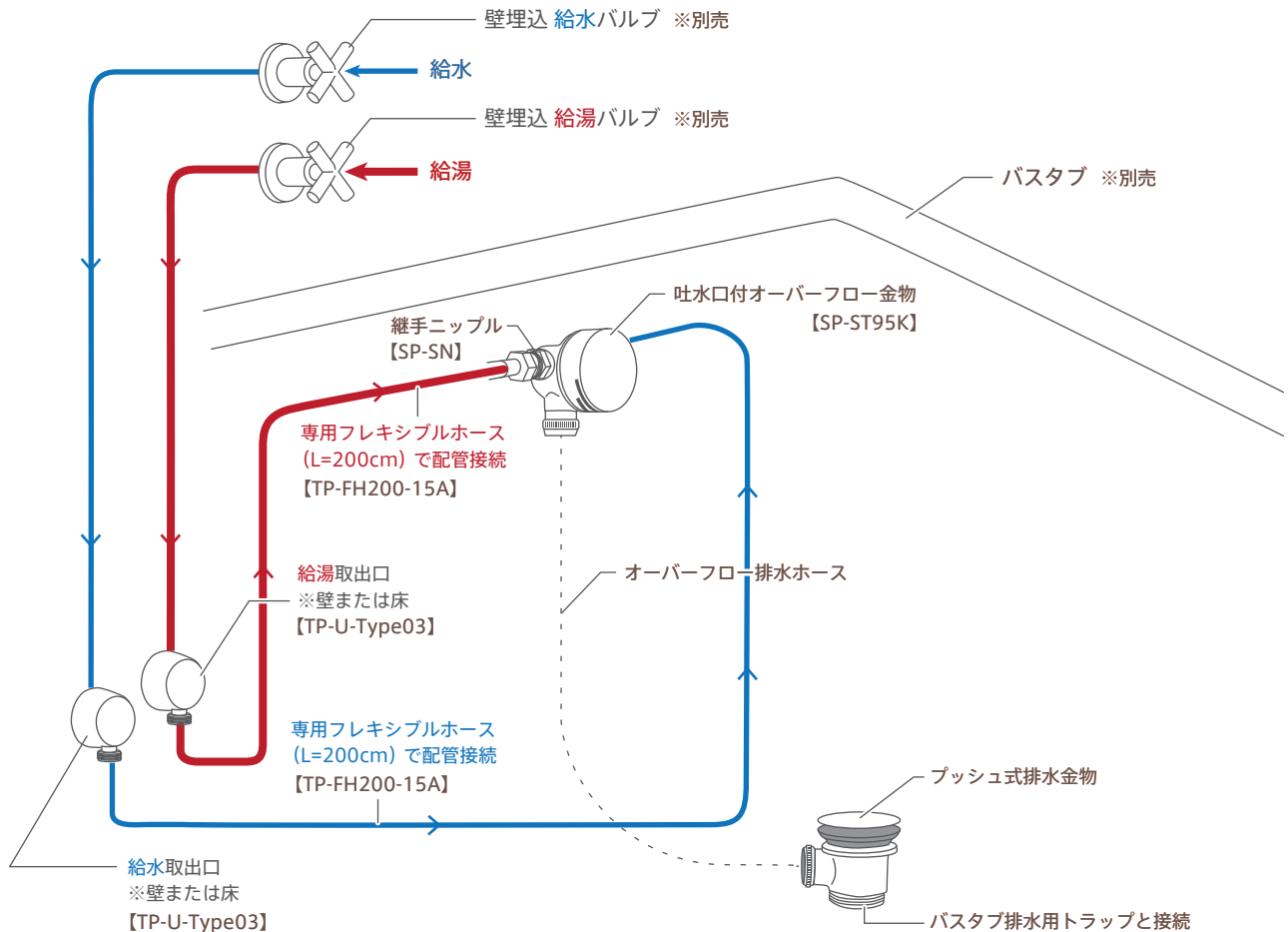
SP-ST95K

⚠ 吐水口付 バスタブ用オーバーフロー金物の注意点

- ①オーバーフロー機能と吐水機能を搭載した本製品は、**自動お湯張りの吐水口としては使用できません。**
通常のお湯張りとは異なり、オーバーフロー位置から吐水されるため、給湯器が正常に機能しない可能性があります。
また、給湯時は吐水部分が高温により誤って触れてしまうと、火傷する危険性があります。そのため、給湯器メーカーから保証対象外となるため、当社規定においても自動お湯張りの吐水口としての使用はできません。
本製品をご検討の際は、バルブまたは混合栓による給湯で計画ください。
- ②オーバーフロー排水は必ず設けてください。オーバーフローがなければバスタブ内の湯面が吐水口より上になり、バスタブ内の汚れた水が給水フレキシブルホースへ逆流し、重大な事故に繋がります。 ※本製品には逆流防止弁は付属していません。
通常は、水道メーターの隣に設けられてある元栓（止水栓）に逆流防止弁が搭載されてあるため上記の危険はありませんが、逆流防止弁を使用していない場合は、水道本管へ逆流しないように逆止弁を必ず設けてください。

給水・給湯用 壁埋込バルブを使用した場合の配管回路

給水・給湯用 壁埋込バルブを使用した場合、吐水口付バスタブ用オーバーフロー金物【SP-ST95K】のメクラキャップを両側とも取り外し、継手ニップルを取付、専用フレキシブルホースで給水・給湯配管ください。（別資料【吐水口付バスタブ用オーバーフロー金物 構成部品】参照）
※バルブの位置は、現場サイドで配管可能な範囲で自由に変更可能です。
※専用フレキシブルホースの点検や交換が出来るように、点検口を設けてください。



吐水口付 バスタブ用オーバーフロー金物の概要 2

該当品番：

SP-ST95K

⚠ 吐水口付 バスタブ用オーバーフロー金物の注意点

- ①オーバーフロー機能と吐水機能を搭載した本製品は、**自動お湯張りの吐水口としては使用できません。**
通常のお湯張りとは異なり、オーバーフロー位置から吐水されるため、給湯器が正常に機能しない可能性があります。
また、給湯時は吐水部分が高温により誤って触れてしまうと、火傷する危険性があります。そのため、給湯器メーカーから保証対象外となるため、当社規定においても自動お湯張りの吐水口としての使用はできません。
本製品をご検討の際は、バルブまたは混合栓による給湯で計画ください。
- ②オーバーフロー排水は必ず設けてください。オーバーフローがなければバスタブ内の湯面が吐水口より上になり、バスタブ内の汚れた水が給水フレキシブルホースへ逆流し、重大な事故に繋がります。 ※本製品には逆流防止弁は付属していません。
通常は、水道メーターの隣に設けられてある元栓（止水栓）に逆流防止弁が搭載されてあるため上記の危険はありませんが、逆流防止弁を使用していない場合は、水道本管へ逆流しないように逆止弁を必ず設けてください。

壁埋込 混合栓を使用した場合の配管回路

壁埋込混合栓を使用する場合、通常混合栓から出湯したものを専用フレキシブルホース 1 本を配管接続することになり、流量の確保がされにくく、貯水に時間が掛かってしまいます。壁埋込混合栓でバスタブへ貯水を計画される場合は、早く貯水を行うために**高圧型給湯器**をお選びいただき、流量を確保してください。さらに、混合栓から出湯した配管をチーズ配管等で取出口を 2 つ設けて、**両側共専用フレキシブルホースを接続**してください。

※混合栓の位置は、現場サイドで配管可能な範囲で自由に変更可能です。

※専用フレキシブルホースの点検や交換が出来るように、点検口を設けてください。

